



阪神電気鉄道 開業 120 周年記念

みんなで作る『阪神検定』実施決定、問題を募集します

～問題募集は4月11日～6月24日、検定は9月～

阪神電気鉄道株式会社（本社：大阪市福島区、社長：久須勇介）は、神戸（三宮）～大阪（出入橋）間の鉄道営業を開始してから2025年4月12日（土）で120周年を迎えることを記念して、『阪神検定』を9月（予定）から実施します。『阪神検定』はウェブ上で受験でき、合格者には「阪神検定認定証」を発行するほか、合格者の中から抽選で豪華賞品をプレゼントします。

開催に先立ち、**4月11日（金）10時**から『阪神検定』で出題する問題（120問）を募集します。阪神電車（駅・路線・車両）だけでなく、阪神グループのサービス・施設に関すること全てを題材とし、検定の問題として採用された方には、阪神電車オリジナルグッズを進呈します。

開業120周年の記念企画として、これまでともに歩み続けていただいたお客さまと一緒に作りあげ、よりお楽しみいただける内容を目指します。

また、開業120周年特設サイトでは、『阪神検定』募集開始と同時に、120周年記念ポスターギャラリー、神戸新聞 阪神電気鉄道120周年 PR 特集、スペシャルムービーなど様々なコンテンツを追加します。

いよいよ開業120周年を迎える阪神電気鉄道 & 阪神グループの取組みにご注目ください！
概要は、次ページ以降のとおりです。



阪神電気鉄道 & 阪神グループ120周年記念クイズ企画
阪神検定 問題募集!

< 阪神検定について >

1 概要

阪神電気鉄道及び阪神グループの過去・現在のサービス・施設などに関する理解度を全120問の設問で評価します。『阪神検定』合格者には、「阪神検定認定証」を発行します。さらに、合格者の中から抽選で豪華賞品をプレゼントします。

募集内容は4月11日（金）に公開します。

- 開催期間 9月～12月（予定）
- 設問数 120問
- 受験料 無料

2 問題の募集

○募集内容

- ・正解1問（必須）
- ・正解の解答1つ（必須）
- ・不正解の解答3つ（任意）

（応募例）

問 題：1905年に阪神電車が営業を開始した際の運行区間はどれか。

正解の解答：大阪(出入橋)～神戸(三宮)

不正解の解答：①大阪(出入橋)～尼崎②尼崎～神戸(三宮)③大阪(梅田)～神戸(元町)

※阪神電車（駅・路線・車両）だけでなく、阪神グループのサービス・施設等に関すること全てを題材とすることができます。

○採用特典

採用された方には阪神電車オリジナルグッズ（アンブレラマーク、折り紙、定規）をセットでプレゼントします。

○募集期間

2025年4月11日（金）10時 ～ 6月24日（火）23時59分（予定）

○応募方法

特設サイトにアクセスしていただき、「阪神検定問題募集」の〔応募する！〕ボタンからご応募ください。

※サイトURL：<https://www.hanshin.co.jp/120th/>

< 注意事項 >

- ・他サイトや他人の出版物からの転載など第三者に帰属している著作物等の利用は禁止します。
- ・個人の考察による作問はご遠慮ください。
- ・何問でもご応募いただけますが、2問以上採用された場合でも阪神電車オリジナルグッズは1セットのみのプレゼントとなります。
- ・採用された方であっても、事務局から連絡がつかない場合は阪神電車オリジナルグッズをプレゼントできないことがあります。
- ・ご応募いただいた問題が他の応募問題と類似していた場合、選考・調整のうえ、採用された方に特典をプレゼントします。
- ・採用された問題には、あらかじめ記入いただいたニックネームを表示します。

- ・ご応募いただいた問題及び解答は、事務局がアレンジする場合があります。
- ・採用された問題の著作権は、問題を応募した時点で阪神電気鉄道株式会社に移転します。

< 開業120周年特設サイトのコンテンツ追加（4月11日(金)更新）について >



< 120周年記念ポスターギャラリー >

HANSHIN HISTORY
阪神電車とグループ120年のあゆみ
2025年4月12日(土)に、阪神電気鉄道は開業120周年を迎える。グループ会社とともに、「お客さま一人ひとりのたいせつ」を大切に育てて来た120年を、輝かしい写真と文を交えて振り返る。

1905 (明治38)年～1924 (大正13)年
日本初の都市間電気鉄道開業から、世界水準の甲子園大運動場開設まで

阪神電車の誕生
阪神電気鉄道は、今から119年前の1905年4月12日、日本の電気式軌道の阪神電気鉄道として、大衆一帯で電車を走らせました。その30年前に近頃の鉄道網が完成していたにもかかわらず、鉄道網に不足する需要を補う形で建設された。当時の「お客さま一人ひとりのたいせつ」を大切に育てて来た120年を、輝かしい写真と文を交えて振り返る。

鉄道開業の年に、早くもレジャー事業に進出!
阪神電気鉄道は、開業当初からレジャー事業への関心を高く、開業の翌年には園遊会の企画運営を行いました。1907年には常設遊園地「海遊園」を開業するなど、後世に遊園地を開業させた。その後、1908年に「海遊園」を閉鎖し、1910年に「海遊園」の跡地に「海遊園」の跡地に「海遊園」を開業させた。その後、1910年に「海遊園」を閉鎖し、1910年に「海遊園」の跡地に「海遊園」を開業させた。

鉄道会社が自社で発電し、さらに沿線に電力を供給!
電車を走らせるために必要な電力は、自社の発電機から供給。この電力を自給し、鉄道線路には電力を供給し、沿線に電力を供給しました。1912年に「海遊園」を閉鎖し、1912年に「海遊園」の跡地に「海遊園」を開業させた。その後、1912年に「海遊園」を閉鎖し、1912年に「海遊園」の跡地に「海遊園」を開業させた。

| 年次 | 出来事 |
|------------|----------------------|
| 1905.4.12 | 神戸(1区)～大塚(5区)間開業 |
| 1905.7 | 海遊園を開業 |
| 1905.12.21 | 大塚～三宮間開業 |
| 1907.4.1 | 新開地～三宮間開業 (1区～3区間開業) |
| 1908.10.1 | 神戸電力供給事業開始 |
| 1909.9.30 | 西舞子駅開業 (1区～3区間開業) |
| 1914.6.19 | 在来線開業 |
| 1915.9 | 電化開業 |
| 1924.4.20 | 大塚～三宮間開業 (1区～3区間開業) |
| 1924.8.1 | 甲子園大運動場開設 |

< コラム 阪神電車とグループ120年のあゆみ >

阪神グループは、「「たいせつ」がギュッと。」のブランドスローガンの下、これからも一人ひとりのお客様の「たいせつ」と向き合い、グループ一丸となって阪神らしいブランド体験を提供し続けることで、その信頼と期待に応えてまいります。

< 神戸新聞 阪神電気鉄道120周年PR特集 >

